



新富士ロータリークラブ会報

ROTARY SERVING HUMANITY

— 人類に奉仕するロータリー —

R I 会長 ジョンF.ジャーム
第2620地区ガバナー 生子 哲男
新富士 R. C. 会長 赤 渕 浩 雄
幹事 仲 澤 千 尋

事務所：富士市平垣本町8番1号
例会場：ホテルグランド富士内
TEL(0545)61-0360
例会日時：毎週火曜日
12:30~13:30



第1266回例会 (2017. 5. 16)



司 会 小串 民義副会場監督
ソング 「奉仕の理想」
四つのテスト唱和・本年度新富士 R C テーマ唱和
R I テーマ唱和

会長挨拶

本日は第4回目となる前島正容ガバナー補佐の公式訪問です。ガバナーの公式訪問を含めれば5回目です。今迄は、公式訪問は3回であった様に記憶しています。ガバナー補佐も日程調整に御苦労されたのではないかと拝察致します。

私事ですが先月中旬に右足脛脛の筋肉を切断し、当分の間松葉杖の使用になり、お陰様で多くの読書の時間が与えられました。手にした本の中に「富士宮ロータリークラブ50周年誌」がありました。その中にガバナー補佐の会長時代の挨拶文がありました。一部を紹介させて頂きたいと思います。

「会員増強は過去『資質と拡大』についての多くの議論が尽くされてきましたが、百有余年にわたるロータリーの根幹であり、クラブが活性化するには会員の絶対数が重要であることに疑いの余地はありません。『誰もが参加し活動してみたいくなる魅力あるクラブ』『一週間例会が空くと寂しい』と思えるクラブ運営のもと、質と量のバランスを重視した増強を進めたく存じます。」とありました。

間もなく会長の任期が終わろうとする私の胸に突き刺さる様な言葉でした。「誰もが参加し活動してみたいくなる魅力あるクラブ」作りに最大限の努力をしたのだろうか？年度の途中から審議会で示された「月2回の例会」を



取り入れ、月3回の例会に回数を減らし、「一週間例会が空くと寂しい」と感じる諸先輩の言葉に真剣に対応してきたのだろうか？会長として残された僅かな期間ですが「広げよう繋げよう奉仕の輪」の目標に向かってラストスパートをしたいと思います。

ビジター

第3分区ガバナー補佐 前島 正容様
事務局 高木 信周様



ビジターの紹介
森 美城副会長



ガバナー補佐
前島正容様



事務局
高木信周様

幹事報告

- ① 5月のロータリーレートは、1ドル=110円（4月：116円）
- ② 静岡第3分区ガバナー補佐より、IM報告書 受信回覧
- ③ 富士市国際交流協会より、平成29年度総会開催の案内 受信回覧
- ④ 赤十字NEWS 第924号 受信回覧
- ⑤ ガバナー月信 5月号、ロータリーの友 5月号 各配布
- ⑥ 週報受信回覧 富士山吉原RC 富士RC 沼津北RC 御殿場RC

プログラム予定

5月30日(火) 通常例会

出席報告

例会回数	計算会員数	出席者数	欠席者数	MU	出席率
第1266回	30	20	10		暫定66.66%
第1264回	30	18	12		確定60.00%

《本日の欠席者》

雨森 和彦君	長谷川 勝君	堀井 健治君
井上 晴雄君	久保田元久君	佐野 昌宏君
鈴木 一也君	篠原 一恵君	鈴木 清久君
川村 武君		



幹事報告

川口平吾副幹事



出席報告

佐藤常明副会長



スマイル報告

長原 幹会員

私のスマイル

高橋 孝行君 前島ガバナー補佐の来訪を歓迎します。

小山 哲君 前島ガバナー補佐、高木事務局様、一年間お疲れ様でした。

木村 憲司君 ガバナー補佐、最後の新富士RCの訪問ご苦労様です。

小串 民義君 前島ガバナー補佐の来訪を歓迎します。

川口 平吾君 熱海の花火が海にうつってキレイでした。

林 和子君 田植えも終わり緑が目にしみます。

本多 脩身君 過ごしやすい季節になりましたね。

渡邊 哲男君 花をありがとうございます。

和田 三郎君 年令を重ねると、運転免許証の更新が大変です。

長原 幹君 会社の雑草も大きくなり、取りのぞくに頑張っています。

望月 研一君 人々の仕上げを祈って。

赤渕 浩雄君 前島正容ガバナー補佐、高木信周事務局の来訪を歓迎します。ガバナー補佐卓話宜しくお祈いします。

第4回ガバナー補佐公式訪問

期 末 挨拶

静岡第3分区ガバナー補佐
前島 正容様

皆様こんにちは。ガバナー補佐として富士宮ロータリークラブから出向しております前島正容と、随行者の富士宮ロータリークラブ高木信周です。

本日は、本年度の活動の検証、貴クラブの進捗状況、ガバナー補佐としての所感、結びに随行者の高木会員から「体験」を述べます。

本年度は国際ロータリーの「規定審議会」に大きな改定があり、その受け皿として計5回のクラブ訪問を実施しました。会員資格や例会回数の緩和、入会金・会費の見直し等に対し「クラブの裁量」「寛容な運営」を重視。今後開かれたロータリー第一歩となります。

生子ガバナーの目標は【ロータリー戦略計画】でした。

1. 会員増強
2. マイロータリーの活用
3. ロータリー財団の寄付
4. ロータリー-米山記念奨学会の支援
5. ロータリー公共イメージの向上
6. 地区事業への支援と理解
7. RI会長賞へ挑戦
8. 地区大会の参加
9. ポリオ撲滅
10. アトランタ国際大会参加

そのうちで静岡第3分区の重点目標は以下の3項目です。

- ①「会員増強」とITを活用した「ロータリーの公共イメージの向上」
- ②「財団を学び、活用すること、ロータリーカード普及100%達成」
- ③「IMJ」

会員増強とIT

増強は組織を継承する為の原点です。「地域をよくし、困っている人に手を差し伸べる」こうした活動を共にする会員の加入と維持を目指すことでした。

困っている人に手を差し伸べる気持ちは誰しもが持っています。その原動力は一人より二人、さらに十人、百人と大きな力がまとまると、その効果も大きくなります。

一日24時間、一年365日世界中で良いことをしているロータリーは、入会することで始まり、自ら行動することで充実した達成感が生まれます。

会員増強のためのツールのひとつがITです。本年度は各クラブからIT推進者を選抜していただき、ITセミナーを開催し、IMJのクラブ活動発表につながりました。

大きな変貌を遂げている世界、その原点は「IT: Information Technology・情報技術」です。ロータリーは世界に開かれています。ロータリークラブの行動を広くアピールすることは、仲間づくりに大いに貢献します。そのためにクラブの事業を広く広報することが求められています。その成果のひとつがIMJでのクラブ紹介でした。短い時間での表現は創意工夫が必要でしたが、同時に他クラブの事業が新しい刺激ともなり

「ロータリーの公共イメージの向上」と、

「マイロータリーでの情報収集」について実践してください。

次代の変化を吸収し、新しい知恵でクラブ活性化させましょう。

